

平成26年度の実績報告

日本型直接支払制度
環境保全型農業直接支払交付金

1. 環境保全型農業直接支払交付金の概要

化学肥料、化学合成農薬を県の慣行レベルから原則5割以上低減する取組とセットで、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む生産者に対し支援を行った。

支援対象となる取組	取組内容	支援単価	備考
カバークロープ	主作物の栽培期間の前後のいずれかに緑肥等を作付けする※	8,000円／10a	全国共通取組
炭素貯留効果の高い水質保全に資するたい肥の施用	主作物の栽培期間の前後いずれかにたい肥を施用する※	4,400円／10a	
有機農業	化学肥料・農薬を使用しない	8,000円／10a	
草生栽培	園地の下草として麦類や牧草等を作付けする※	8,000円／10a	愛知県独自の地域特認取組

※化学肥料及び化学合成農薬の使用を地域の慣行から原則として5割以上低減する取組とセットで行う。

○カバークロップ（緑肥）の作付

○堆肥の施用

農地に還元されたカバークロップ（緑肥）や堆肥の一部が
土壌有機炭素となり土壌中に貯蔵され、地球温暖化防に貢献



レンゲ



ヘアリーベッチ

カバークロップ

農作物を栽培していない時期に、
露出する地表面をカバークロップ
（緑肥等）で覆う取組



堆肥の施用

農作物の栽培期間の前後いずれ
かに堆肥を適正量施用する取組

○有機農業

化学肥料、化学農薬を使用しないことにより、環境への負荷を軽減し、生物多様性の確保につなげる



農作物の生産過程において、化学肥料及び農薬を使用しない取組

○草生栽培 (愛知県の地域特認取組)

園地に麦類や牧草等を作付けすることにより、土壌浸食防止、有機物補給の効果がある
雑草抑制防止効果により除草剤使用回数低減にもつながる



果樹園の草生栽培

(梨園でのナギナタガヤ)

園地の下草として、麦類や牧草を
等を作付ける取組

県内の取組地域
○大府市のブドウ
○安城市の梨

2. 実施状況

○ 平成26年度の取組面積は437ha（対前年比 104%）

＜平成26年度 環境保全型農業直接支払事業の取組状況＞

年度	実施市町村	実施件数(件)	実施面積(ha)					
			合計	カバー クロープ	堆肥	有機農業	草生栽培	冬期湛水
23年度	17	63	73	18	－	54.7	0	0.27
24年度	21	128	244	157	－	86.5	0.33	0.27
25年度	23	167	420	161	155	102	1.04	－
26年度	23	168	437	148	185	103	1.04	－

年度毎に実施市町村数、実施件数、実施面積が徐々に増大し、取組が広く実施されるようになった。

平成26年度 地域別環境保全型農業直接支払事業の取組状況

農林水産事務所	実施市町村	申請件数(件)	実施面積(ha)				
			合計	カバークロープ	堆肥	有機農業	草生栽培
尾張	4	16	22.7	16.9	0	5.8	0
海部	2	9	41.9	15.6	21.4	4.9	0
知多	8	42	88.4	66.4	0	21.3	0.7
西三河	3	14	71.9	2.0	65.8	3.8	0.3
豊田加茂	1	39	130.5	0.6	97.8	32.1	0
新城設楽	2	21	22.2	4.7	0	17.5	0
東三河	3	27	59.1	41.3	0	17.8	0
合計	23	168	436.7	147.5	185.0	103.2	1.0

特に取組が多い地域

○カバークロープ・・・知多、東三河

○堆肥・・・西三河、豊田加茂

○有機農業・・・知多、豊田加茂

○草生栽培・・・知多、西三河

H23～26年度別 環境保全型農業直接支払交付金総額

○ 平成26年度交付金の総額は 28,282千円(対前年比101%)

単位:千円

年度	カバーク ロップ	水質保全 に資する 堆肥の施 用	有機農業		草生栽培	冬期湛水	合計※
			右記載分 を除く	そば、あわ、 ひえ、きび及 び飼料作物			
交付金単価	8,000円/10a	4,400円/10a	8,000円/10a	3,000円/10a	8,000円/10a	8,000円/10a	
23年度	1,452	—	4,373	—	0	22	5,846
24年度	12,594	—	6,923	—	26	22	19,537
25年度	12,898	6,820	8,171	33	83	—	27,977
26年度	11,801	8,142	8,254	0	83	—	28,282

※同一人物による重複した活動も含まれるため、各支援対象活動ごとの交付対象面積の和と合計面積は一致しない。

H23～26年度別 作物区分ごとの取組面積

○ 水稲・麦・大豆の取組面積が全体の70%を占めていることが本県の特徴。

単位:ha、下段はシェア%

年度	計	水稲	麦・大豆	いも・野菜類	果樹・茶	花き・その他
26年度	437	248	57	69	54	9
		57%	13%	16%	12%	2%
25年度	422	238	61	62	50	11
		56%	14%	15%	12%	3%
24年度	245	169	4	51	18	3
		69%	2%	21%	7%	1%
23年度	77	26	3	32	16	—
		34%	4%	41%	21%	—